

# 令和元年度奈良県市町村民経済計算

2022年11月11日

奈良県総務部知事公室統計分析課



## 目次

I 令和元年度奈良県県民経済計算(名目)の概要【県全域】	P.1
II 地域別にみた令和元年度奈良県市町村民経済計算の概要【地域別】	P.3
1 地域内総生産(名目)	P.3
1. 地域内総生産(名目)と経済成長率(名目)	P.3
2. 地域内経済活動別構成比(産業構造①)	P.5
3. 地域内総生産の経済活動別特化係数(産業構造②)	P.6
2 地域別の市町村民所得(名目)	P.8
1. 地域別市町村民所得(総額)	P.8
2. 地域別の1人当たり市町村民所得	P.10
III 市町村別にみた令和元年度奈良県市町村民経済計算の概要【市町村別】	P.11
1 市町村内総生産(名目)	P.11
1. 市町村ごとの経済成長率(名目)と産業別寄与度	P.11
2. 市町村ごとの総生産(名目)	P.12
3. 市町村内総生産の経済活動別構成比	P.13
2 市町村民所得(名目)	P.14
1. 市町村ごとの市町村民所得(総額)	P.14
2. 市町村ごとの1人当たり市町村民所得	P.15

## 令和元年度市町村 GDP 統計(奈良県市町村民経済計算)について

### (目的)

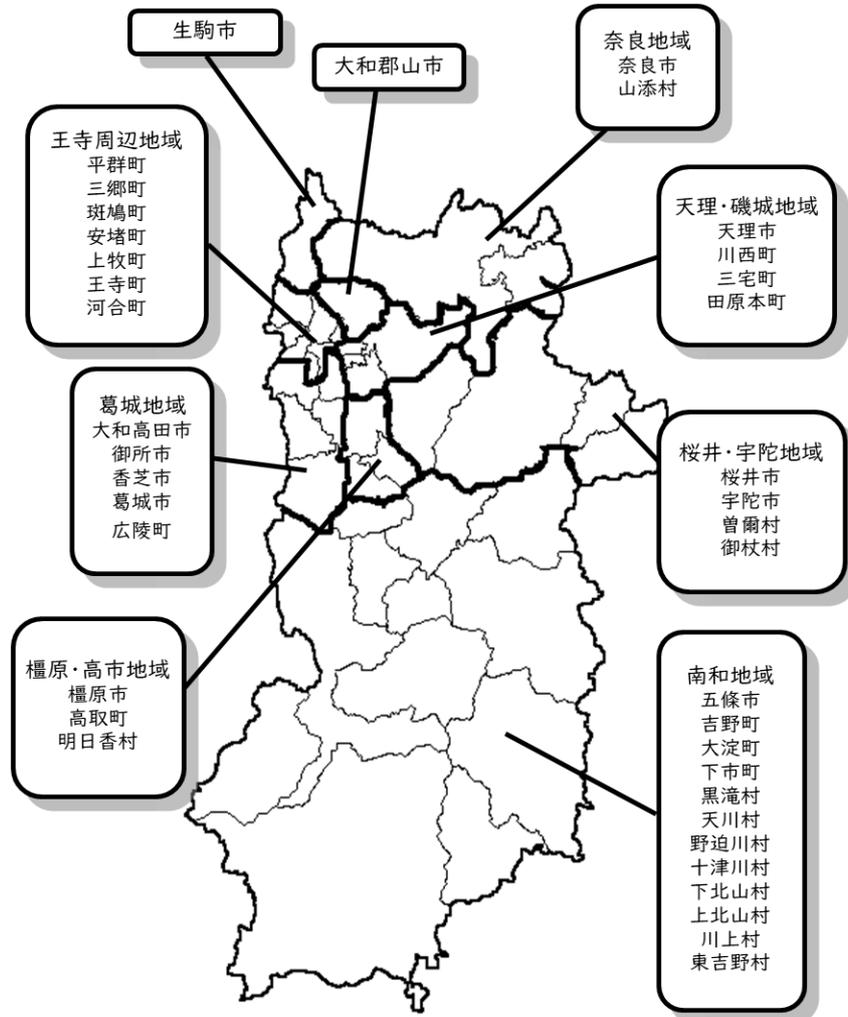
奈良県市町村民経済計算は、市町村における経済の規模、産業構造、所得水準などを包括的に把握することを目的として、市町村ごとの市町村内総生産(GDP)及び市町村民所得を推計したものです。

### (推計方法)

奈良県県民経済計算(令和元年度版、令和4年9月公表)を経済センサス、商業統計調査、工業統計調査など各種統計データで市町村ごとに按分することにより推計しました。

### (地域区分)

平成18年4月1日現在の「奈良県広域市町村圏」を基準として、県内を2市と7地域に区分し、地域ごとも推計を行っています。



※地域区分は、平成18年4月1日現在の広域市町村圏を基本としていますが、地理的状況から、山添村は奈良地域として区分しています。

1 地域内総生産(名目)

- 県内総生産(名目) : 3兆9,252億円 (国 559兆6,988億円)
- 経済成長率(名目) : ▲0.3% (国 +0.5%)
- 1人当たり県民所得 : 272万8千円 対前年度比 ▲0.9%
- (参考) 1人当たり国民所得 318万1千円 対前年度比 +1.1%

令和元年度の県経済成長率(名目)は、▲0.3%と4年ぶりのマイナスとなった。保健衛生・社会事業、運輸・郵便業等が増加したが、製造業、建設業などが減少したことによる。

1人当たり県民所得は、272万8千円で、対前年度比 ▲0.9%と2年連続のマイナスとなった。1人当たり国民所得(318万1千円)に対して85.8%の水準となった。

図1 経済成長率(名目)の推移

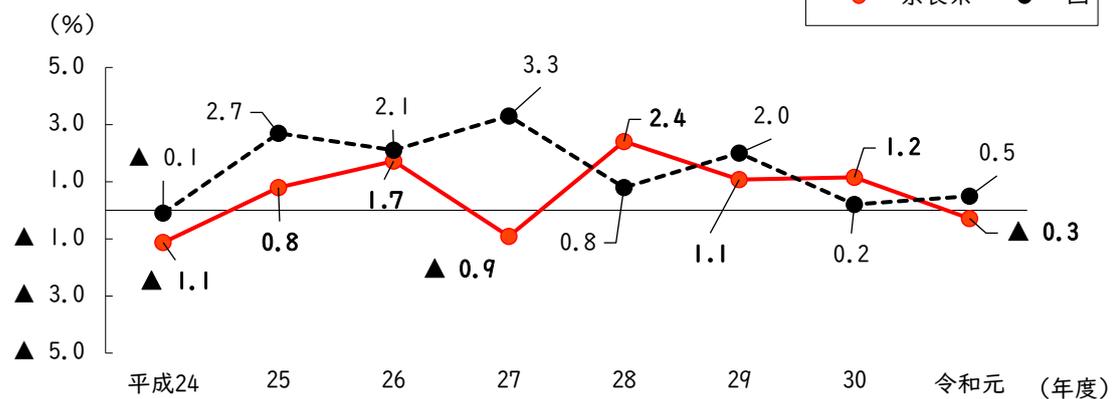


図2 1人当たり県(国)民所得の推移

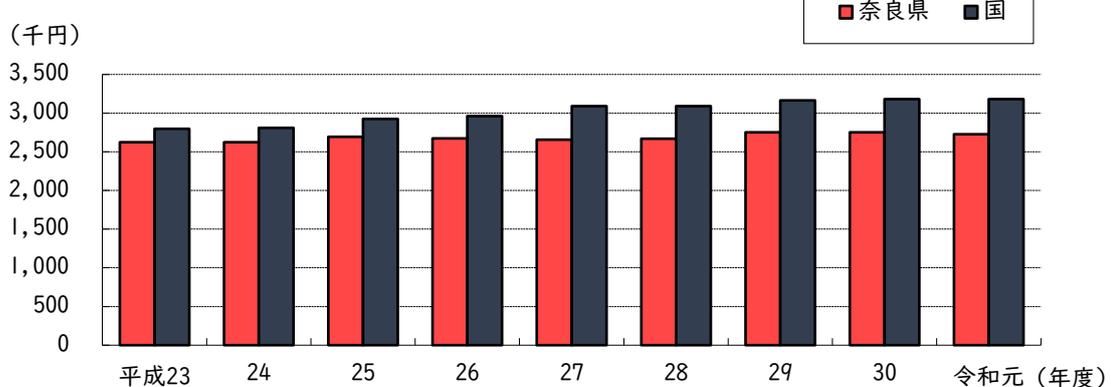


表 1 経済成長率等の推移

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
経済成長率（名目） （％）	奈良県	-	▲ 1.1	0.8	1.7	▲ 0.9	2.4
	国	-	▲ 0.1	2.7	2.1	3.3	0.8
県（国）内総生産（名目） （県：億円、国：10億円）	奈良県	37,433	37,009	37,303	37,945	37,597	38,503
	国	500,041	499,424	512,686	523,418	540,739	544,827
1人当たり県（国）民所得 （千円）	奈良県	2,624	2,624	2,692	2,673	2,658	2,669
	国	2,798	2,808	2,925	2,961	3,090	3,091

		平成29年度	平成30年度	令和元年度
経済成長率（名目） （％）	奈良県	1.1	1.2	▲ 0.3
	国	2.0	0.2	0.5
県（国）内総生産（名目） （県：億円、国：10億円）	奈良県	38,916	39,365	<b>39,252</b>
	国	555,687	556,828	<b>559,699</b>
1人当たり県（国）民所得 （千円）	奈良県	2,754	2,753	<b>2,728</b>
	国	3,163	3,182	<b>3,181</b>

※国値は内閣府「2019年度（令和元年度）国民経済計算年次推計」【2008SNA・2015暦年（平成27暦年基準）】

## II 地域別にみた令和元年度奈良県市町村民経済計算の概要

## 地域別

### 1 地域内総生産(名目)

#### 1. 地域内総生産(名目)と経済成長率(名目)

- 経済成長率(対前年度増加率)は、5地域でマイナスとなった。  
大和郡山市は▲1.9%のマイナス成長で製造業が大きく寄与した。

図3 地域内総生産(名目)と経済成長率(名目)

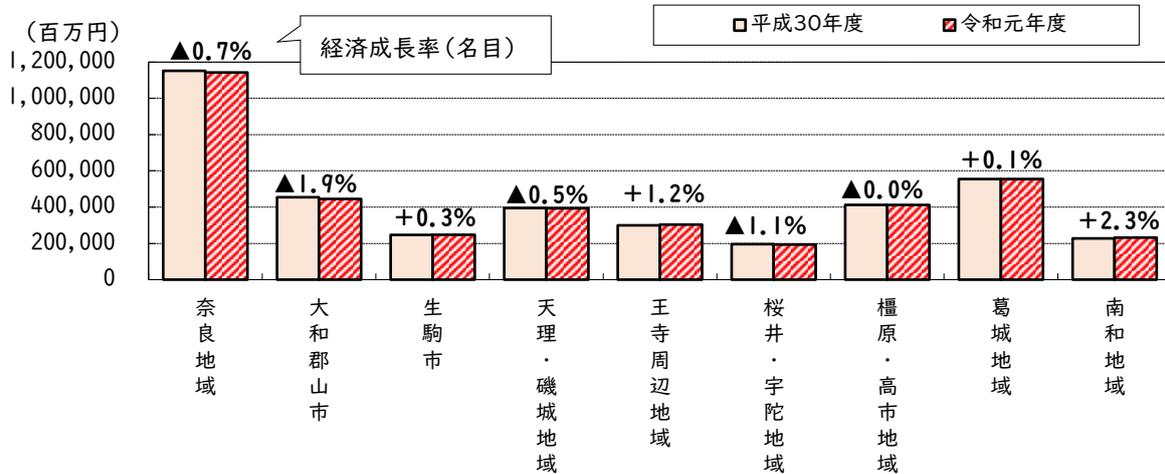
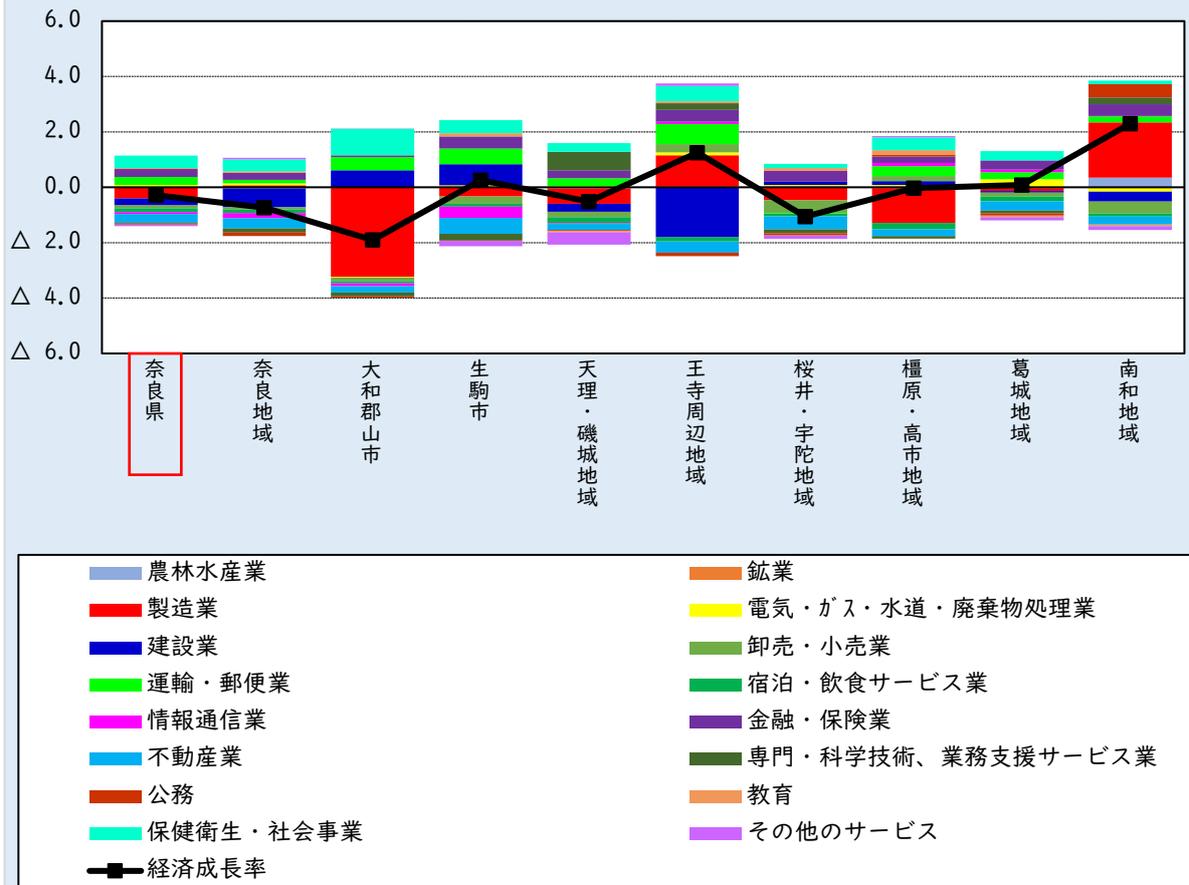


表2 地域内総生産の推移

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	実数(百万円)	実数(百万円)	対前年度増加率(%)											
奈良県	3,730,338	3,794,498	1.7	3,759,689	▲0.9	3,850,344	2.4	3,891,635	1.1	3,936,470	1.2	3,925,192	▲0.3	
奈良地域	1,082,805	1,097,161	1.3	1,116,841	1.8	1,128,488	1.0	1,139,452	1.0	1,151,295	1.0	1,142,872	▲0.7	
大和郡山市	401,333	422,809	5.4	425,739	0.7	441,434	3.7	451,051	2.2	453,905	0.6	445,262	▲1.9	
生駒市	233,606	238,525	2.1	243,756	2.2	247,048	1.4	249,079	0.8	246,932	▲0.9	247,575	0.3	
天理・磯城地域	357,746	359,954	0.6	357,452	▲0.7	361,917	1.2	378,320	4.5	395,376	4.5	393,333	▲0.5	
王寺周辺地域	267,810	281,208	5.0	269,151	▲4.3	284,934	5.9	289,761	1.7	299,925	3.5	303,664	1.2	
桜井・宇陀地域	201,898	199,910	▲1.0	195,386	▲2.3	198,223	1.5	196,657	▲0.8	195,450	▲0.6	193,379	▲1.1	
橿原・高市地域	402,150	401,128	▲0.3	388,746	▲3.1	398,026	2.4	408,722	2.7	412,245	0.9	412,097	▲0.0	
葛城地域	561,310	567,397	1.1	544,288	▲4.1	562,596	3.4	556,800	▲1.0	554,591	▲0.4	555,050	0.1	
南和地域	221,679	226,406	2.1	218,330	▲3.6	227,678	4.3	221,793	▲2.6	226,751	2.2	231,960	2.3	

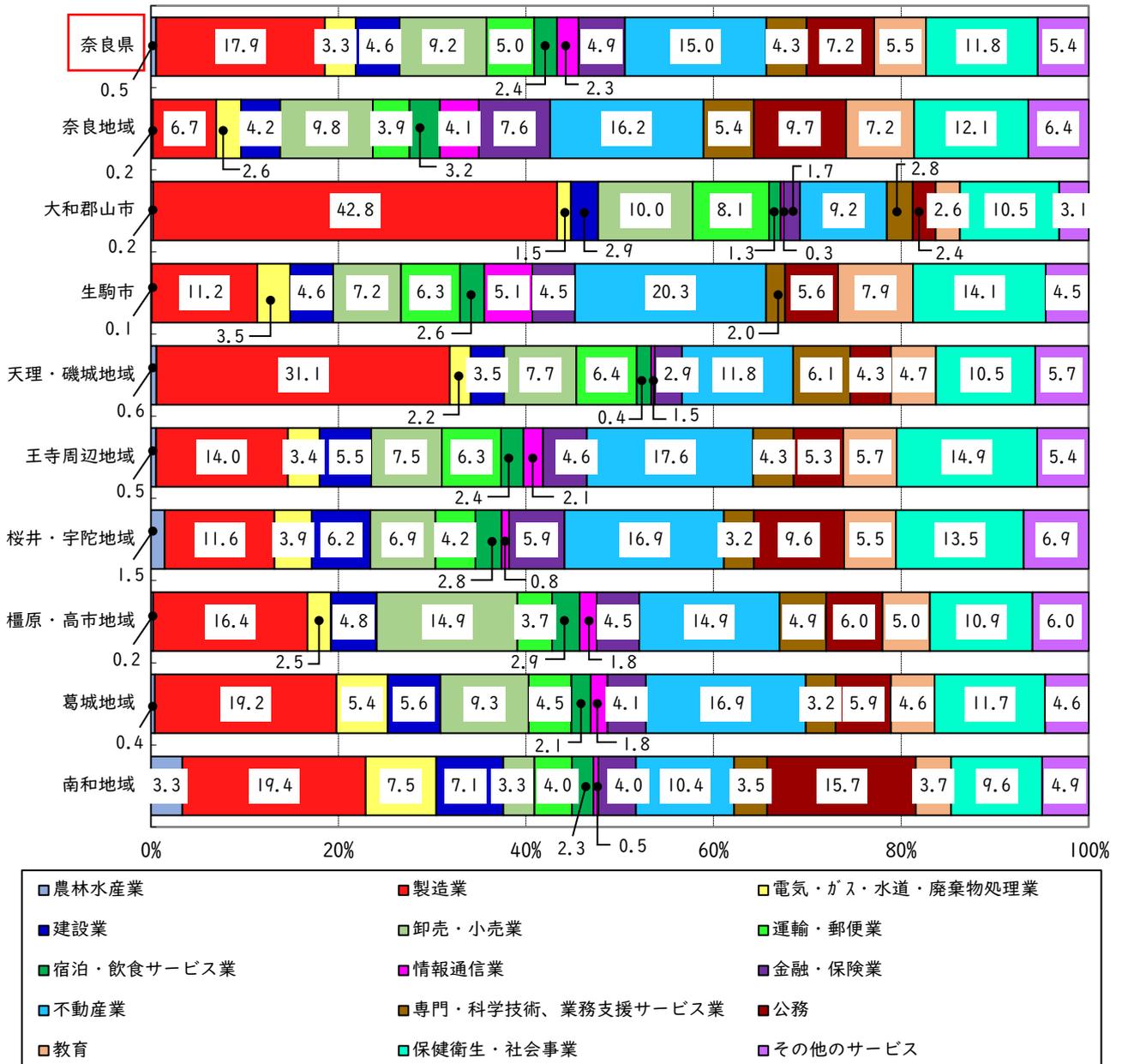
図4 産業別寄与度(令和元年度)



## 2. 地域内経済活動別構成比(産業構造①)

- 奈良地域 …………… 不動産業、保健衛生・社会事業、卸売・小売業の割合が高い。
- 大和郡山市 …………… 製造業の割合が4割以上と高い。
- 生駒市、王寺周辺地域、  
桜井・宇陀地域 …………… 不動産業、保健衛生・社会事業、製造業の割合が高い。
- 天理・磯城地域、葛城地域 …………… 製造業、不動産業、保健衛生・社会事業の割合が高い。
- 橿原・高市地域 …………… 製造業、卸売・小売業、不動産業の割合が高い。
- 南和地域 …………… 製造業、公務、不動産業の割合が高い。

図5 地域内経済活動別構成比(令和元年度)



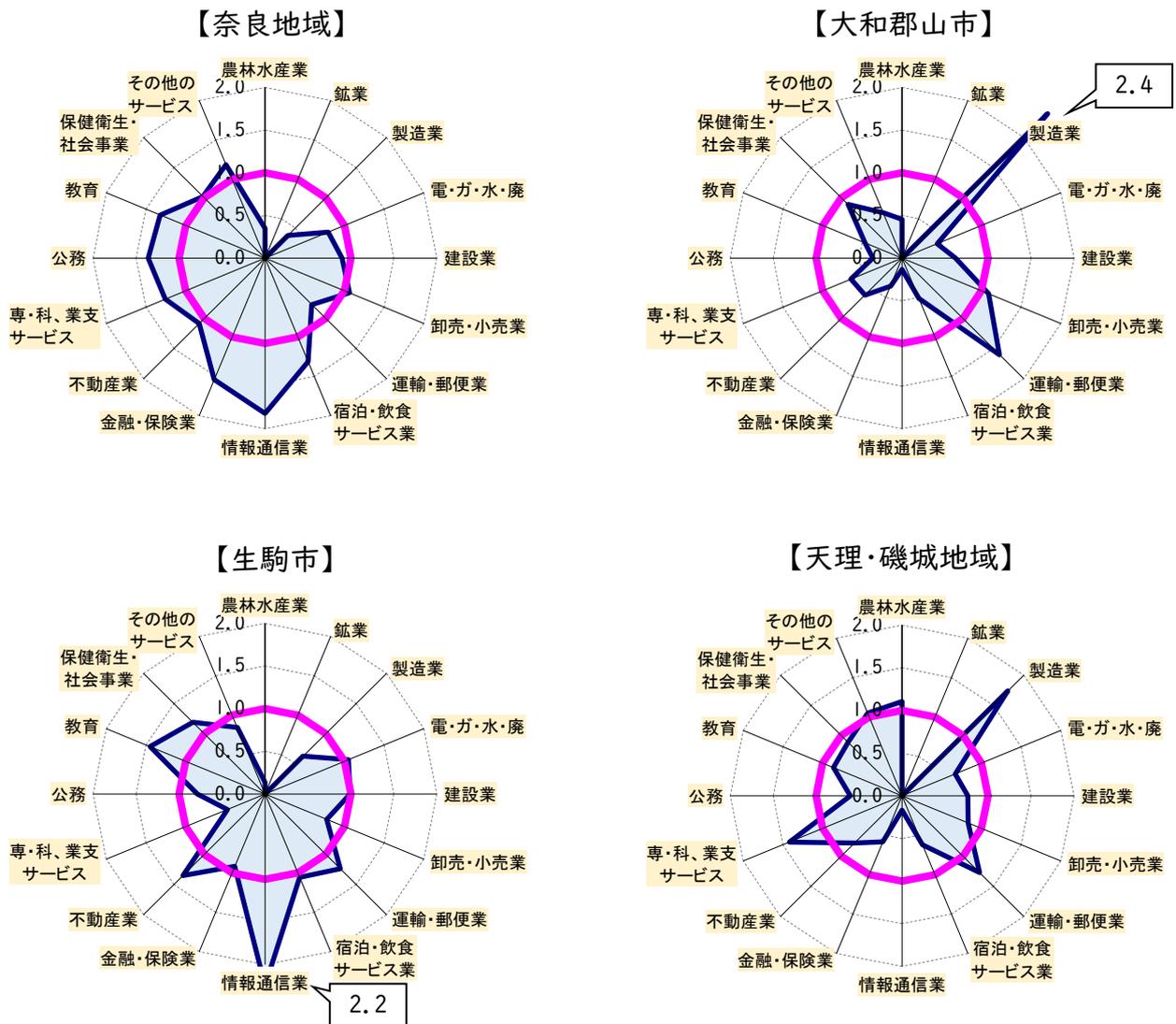
※鉱業は、県全体の構成比が0.05%未満のため非表示。

### 3. 地域内総生産の経済活動別特化係数(産業構造②)

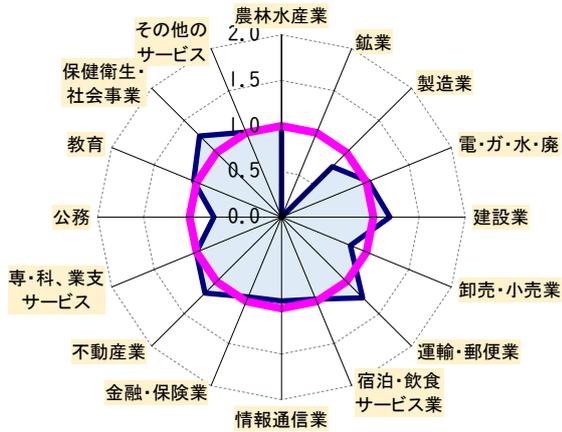
奈良県全体と比較して特化している(特徴的な)産業

- 奈良地域 …………… 宿泊・飲食サービス業、情報通信業、金融・保険業、  
専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育
- 大和郡山市 …………… 製造業、運輸・郵便業
- 生駒市 …………… 情報通信業、不動産業、教育
- 天理・磯城地域 ……… 製造業、運輸・郵便業、専門・科学技術、業務支援サービス業
- 王寺周辺地域 ……… 保健衛生・社会事業
- 桜井・宇陀地域 ……… 農林水産業、建設業、公務、その他のサービス
- 橿原・高市地域 ……… 卸売・小売業
- 葛城地域 …………… 鉱業、電気・ガス・水道・廃棄物処理業
- 南和地域 …………… 農林水産業、鉱業、電気・ガス・水道・廃棄物処理業、建設業、公務

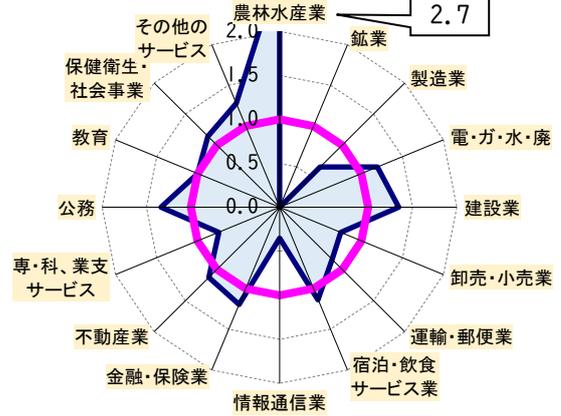
図 6 地域内総生産の経済活動別特化係数(令和元年度)



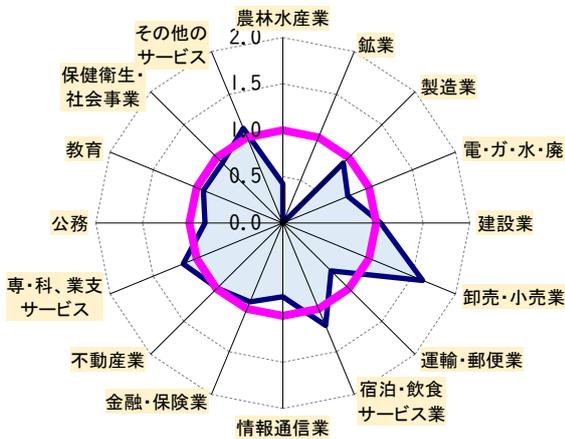
【王寺周辺地域】



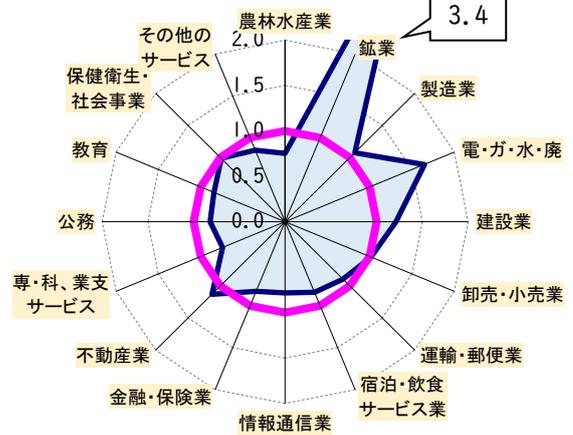
【桜井・宇陀地域】



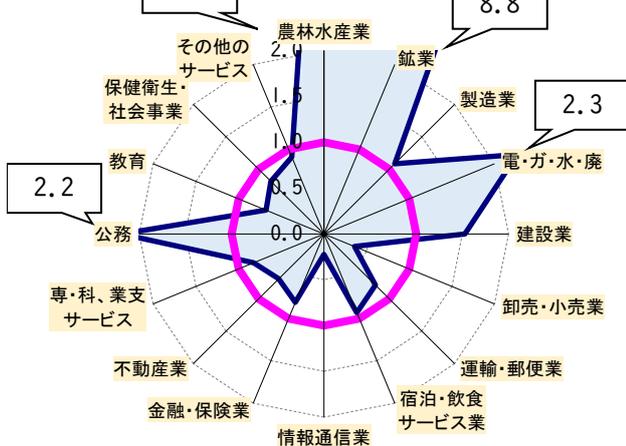
【檀原・高市地域】



【葛城地域】



【南和地域】



特化係数

特化係数は、各地域の各経済活動別構成比を県の構成比と比較して、県からみた相対的な偏りを表す指標です。

この値が1.0を離れるほど、県と比較して特徴的な構成を示していることとなりますが、その産業の特化係数が高いからといって、その地域の主要産業であるとは限りません。

$$\text{特化係数} = \frac{\text{各地域の各経済活動別構成比}}{\text{県の各経済活動別構成比}}$$

※電・ガ・水・廃=電気・ガス・水道・廃棄物処理業

※専・科・業支サービス=専門・科学技術、業務支援サービス業

## 2 地域別の市町村民所得(名目)

### 1. 地域別市町村民所得(総額)

○ 地域別市町村民所得が最も高いのは、奈良地域 1兆1,038億円。(県内シェア30.3%)

令和元年度の地域別市町村民所得は、奈良地域 1兆1,038億円、次いで葛城地域 6,227億円、生駒市 3,725億円、橿原・高市地域 3,544億円、王寺周辺地域 3,476億円、天理・磯城地域 2,621億円、大和郡山市 2,367億円、桜井・宇陀地域 1,883億円、南和地域 1,490億円となった。

図7 県民所得の地域別構成比(令和元年度)

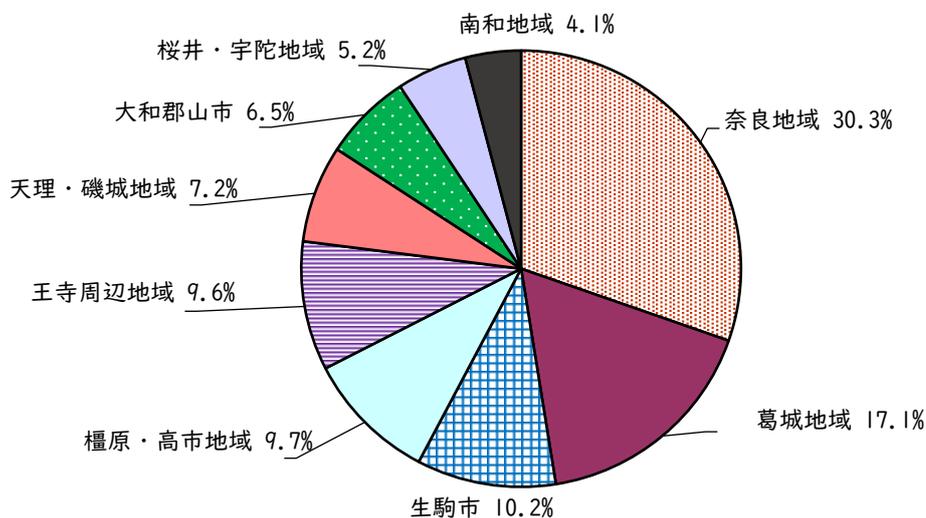


図8 地域別市町村民所得の要素別構成比(令和元年度)

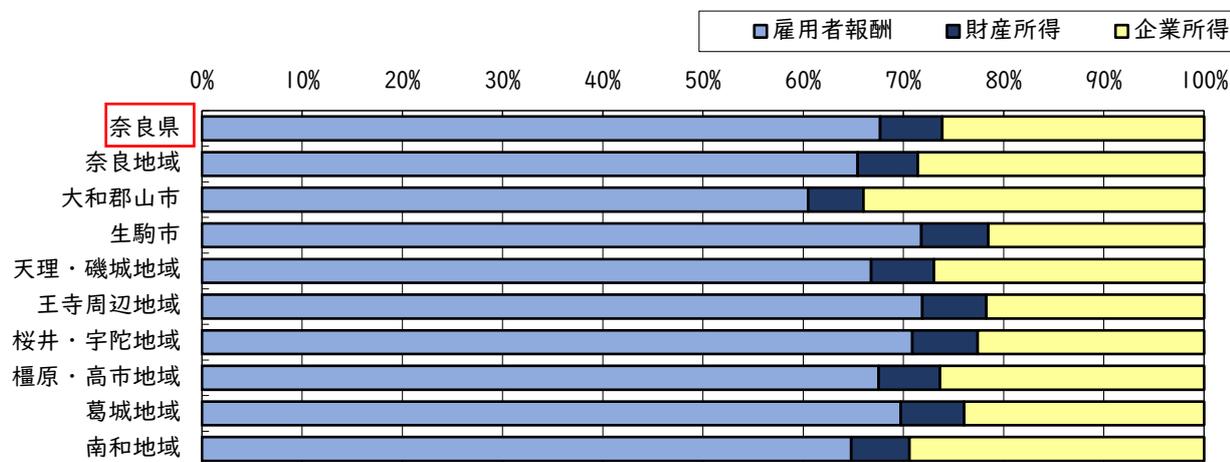


表 3 地域別市町村民所得(令和元年度)

(単位:百万円)

	市町村民所得(分配)			雇用者報酬			財産所得			企業所得		
		県内での シェア(%)	対前年度 増加率(%)		構成比(%)	対前年度 増加率(%)		構成比(%)	対前年度 増加率(%)		構成比(%)	対前年度 増加率(%)
奈良県	3,636,954	100.0	▲ 1.5	2,461,307	67.7	▲ 1.5	225,043	6.2	▲ 4.9	950,604	26.1	▲ 0.7
奈良地域	1,103,756	30.3	▲ 1.5	722,380	65.4	▲ 1.6	66,189	6.0	▲ 4.8	315,187	28.6	▲ 0.7
大和郡山市	236,711	6.5	▲ 2.3	143,164	60.5	▲ 1.7	13,117	5.5	▲ 5.5	80,430	34.0	▲ 2.7
生駒市	372,495	10.2	▲ 2.5	267,364	71.8	▲ 1.8	24,927	6.7	▲ 5.5	80,204	21.5	▲ 3.9
天理・磯城地域	262,051	7.2	▲ 1.7	175,031	66.8	▲ 1.6	16,403	6.3	▲ 4.8	70,617	26.9	▲ 1.1
王寺周辺地域	347,594	9.6	▲ 0.7	249,871	71.9	▲ 1.3	22,225	6.4	▲ 4.6	75,498	21.7	2.5
桜井・宇陀地域	188,300	5.2	▲ 1.8	133,501	70.9	▲ 2.4	12,279	6.5	▲ 5.3	42,520	22.6	1.2
橿原・高市地域	354,416	9.7	▲ 1.9	239,291	67.5	▲ 1.3	21,789	6.1	▲ 4.9	93,336	26.3	▲ 2.7
葛城地域	622,670	17.1	0.1	434,194	69.7	▲ 0.6	39,464	6.3	▲ 4.1	149,012	23.9	3.5
南和地域	148,961	4.1	▲ 4.2	96,511	64.8	▲ 3.1	8,650	5.8	▲ 6.8	43,800	29.4	▲ 6.1

## 2. 地域別の1人当たり市町村民所得

○ 1人当たり市町村民所得が最も高いのは、生駒市318万4千円。(対前年度比 ▲2.1%)

令和元年度の地域別の1人当たり市町村民所得が最も高いのは、生駒市の318万4千円、次いで奈良地域の308万5千円、大和郡山市の278万7千円、橿原・高市地域の263万9千円、葛城地域の263万7千円で、この5地域が1人当たり県民所得(260万円)を上回った。

一方、王寺周辺地域250万5千円、天理・磯城地域の234万8千円、南和地域225万7千円、桜井・宇陀地域217万4千円の4地域が、1人当たり県民所得(260万円)を下回った。

対前年度増加率をみると、葛城地域を除く8地域がマイナスとなった。

なお、市町村民経済計算の示す所得とは、個人や企業、一般政府など各地域全体としての経済規模・活動状況を表したもので、個人の「所得」の状況を表したものではありません。

図9 地域別1人当たり市町村民所得と増減率

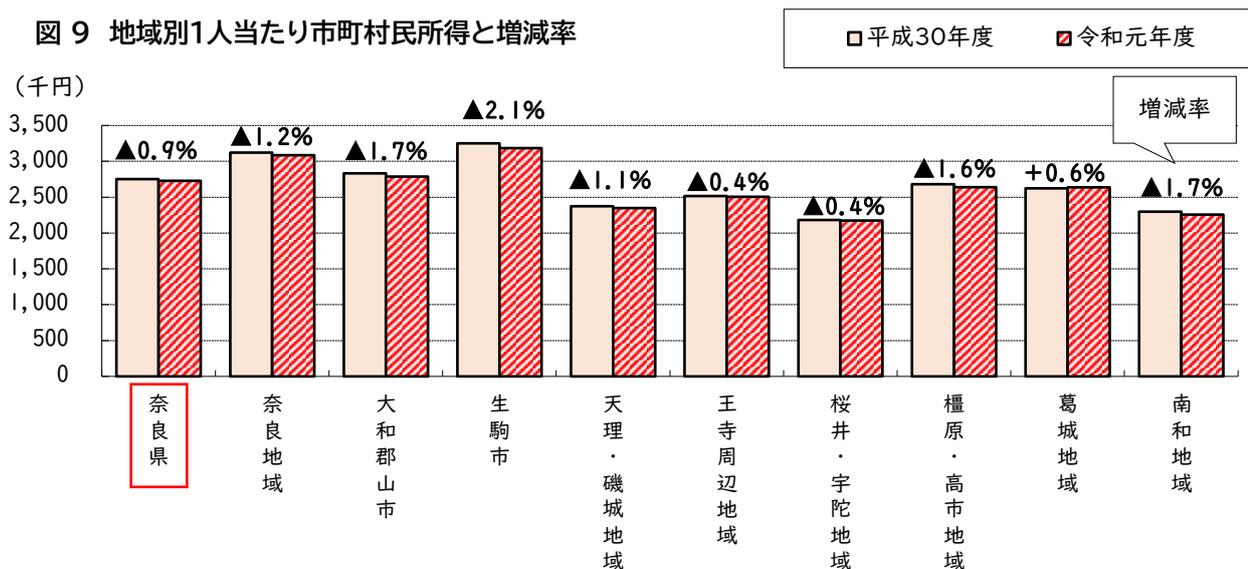


表4 地域別1人当たり市町村民所得の推移

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	実数(千円)	対前年度増加率(%)												
奈良県	2,692	▲0.7	2,673	▲0.6	2,658	0.4	2,669	3.2	2,754	▲0.0	2,753	▲0.0	2,728	▲0.9
奈良地域	3,081	▲1.3	3,042	▲0.1	3,038	▲0.4	3,025	3.2	3,121	0.0	3,121	0.0	3,085	▲1.2
大和郡山市	2,776	▲1.1	2,745	0.8	2,766	▲1.3	2,730	1.8	2,779	2.0	2,834	2.0	2,787	▲1.7
生駒市	3,216	▲0.1	3,214	▲0.8	3,188	2.4	3,263	▲0.3	3,253	▲0.0	3,252	▲0.0	3,184	▲2.1
天理・磯城地域	2,317	0.5	2,329	▲0.2	2,324	▲2.7	2,261	2.8	2,325	2.1	2,373	2.1	2,348	▲1.1
王寺周辺地域	2,528	▲0.7	2,511	▲2.1	2,458	0.5	2,470	2.9	2,541	▲1.0	2,515	▲1.0	2,505	▲0.4
桜井・宇陀地域	2,127	▲1.7	2,090	▲0.8	2,073	3.0	2,135	3.0	2,199	▲0.8	2,182	▲0.8	2,174	▲0.4
橿原・高市地域	2,601	0.2	2,606	▲1.8	2,558	0.7	2,576	4.2	2,683	▲0.1	2,681	▲0.1	2,639	▲1.6
葛城地域	2,530	▲0.2	2,524	▲0.4	2,515	0.8	2,535	4.2	2,641	▲0.8	2,621	▲0.8	2,637	0.6
南和地域	2,160	▲3.5	2,085	▲0.8	2,069	3.9	2,149	8.0	2,321	▲1.0	2,297	▲1.0	2,257	▲1.7

### Ⅲ 市町村別にみた令和元年度市町村民経済計算結果の概要

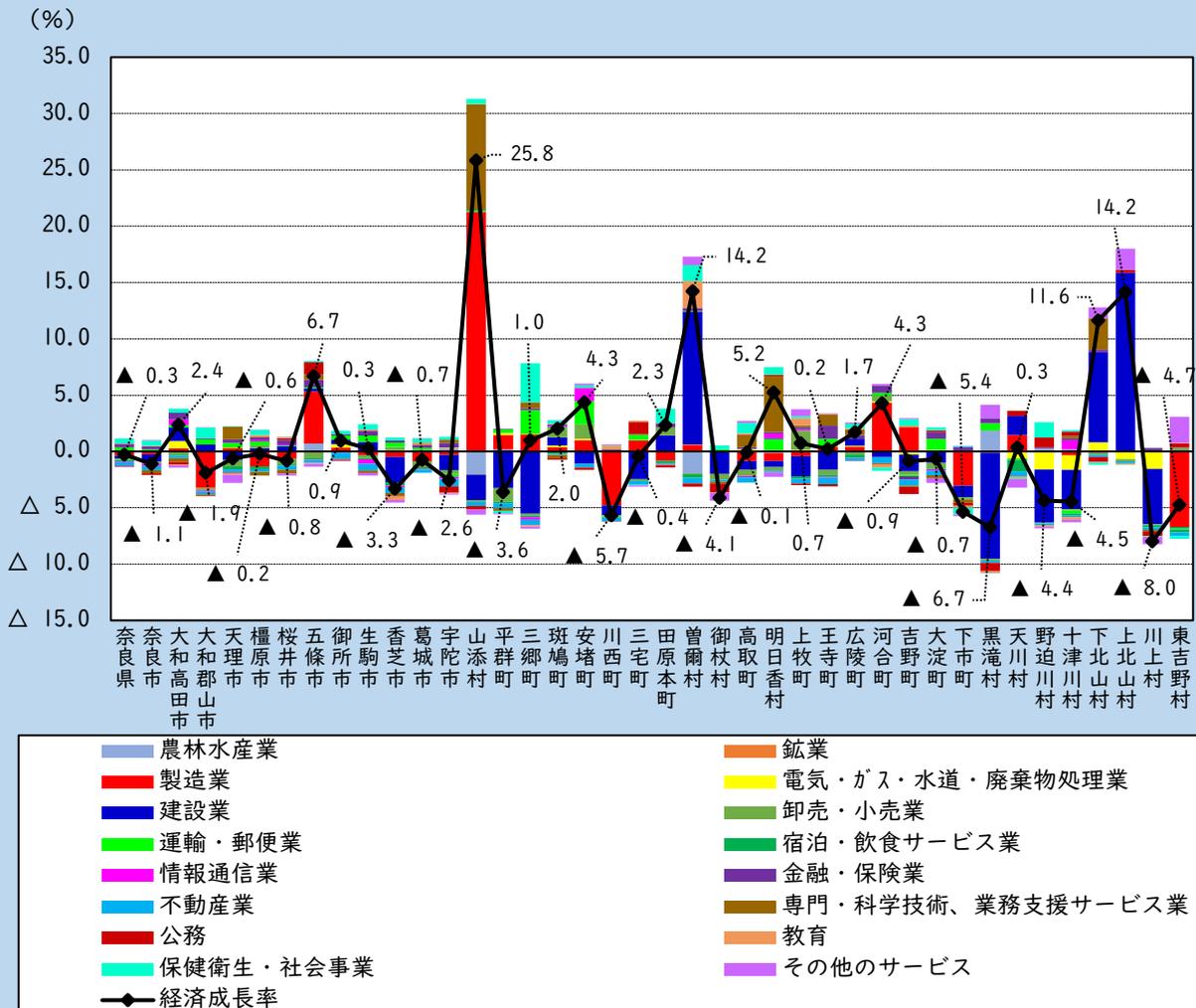
### 市町村別

#### 1 市町村内総生産(名目)

##### 1. 市町村ごとの経済成長率(名目)と産業別寄与度

- 実際の取引額で算出した令和元年度の名目成長率は、奈良市、大和郡山市、天理市等の21の市町村でマイナス。
- プラス成長の市町村は、建設業や専門・科学技術、業務支援サービス業等の寄与度がプラスとなったことが大きく、マイナス成長の市町村は、建設業等の寄与度がマイナスとなったことが目立った。

図 10 市町村ごとの経済成長率(名目)と産業別寄与度(令和元年度)



## 2. 市町村ごとの総生産(名目)

- 総生産の県内シェアは奈良市が一番大きく、28.6%。以下、大和郡山市(11.3%)、橿原市(9.7%)、生駒市(6.3%)等の市が続く。
- 町村の中では、田原本町(2.5%)が一番大きく、以下、王寺町(1.7%)、広陵町(1.7%)が続く。

表 5 市町村ごとの総生産(名目)と県内シェア等(令和元年度)

(単位:百万円、%)

	平成30年度	令和元年度	成長率	県内シェア
奈良県	3,936,470	3,925,192	▲ 0.3	100.0
奈良市	1,134,994	1,122,361	▲ 1.1	28.6
大和高田市	165,383	169,291	2.4	4.3
大和郡山市	453,905	445,262	▲ 1.9	11.3
天理市	239,536	238,031	▲ 0.6	6.1
橿原市	380,541	379,720	▲ 0.2	9.7
桜井市	128,857	127,769	▲ 0.8	3.3
五條市	104,890	111,910	6.7	2.9
御所市	78,414	79,150	0.9	2.0
生駒市	246,932	247,575	0.3	6.3
香芝市	134,899	130,418	▲ 3.3	3.3
葛城市	109,949	109,125	▲ 0.7	2.8
宇陀市	58,362	56,861	▲ 2.6	1.4
山添村	16,301	20,511	25.8	0.5
平群町	28,442	27,409	▲ 3.6	0.7
三郷町	46,201	46,648	1.0	1.2
斑鳩町	47,954	48,925	2.0	1.2
安堵町	24,869	25,950	4.3	0.7
川西町	46,939	44,274	▲ 5.7	1.1
三宅町	14,701	14,638	▲ 0.4	0.4

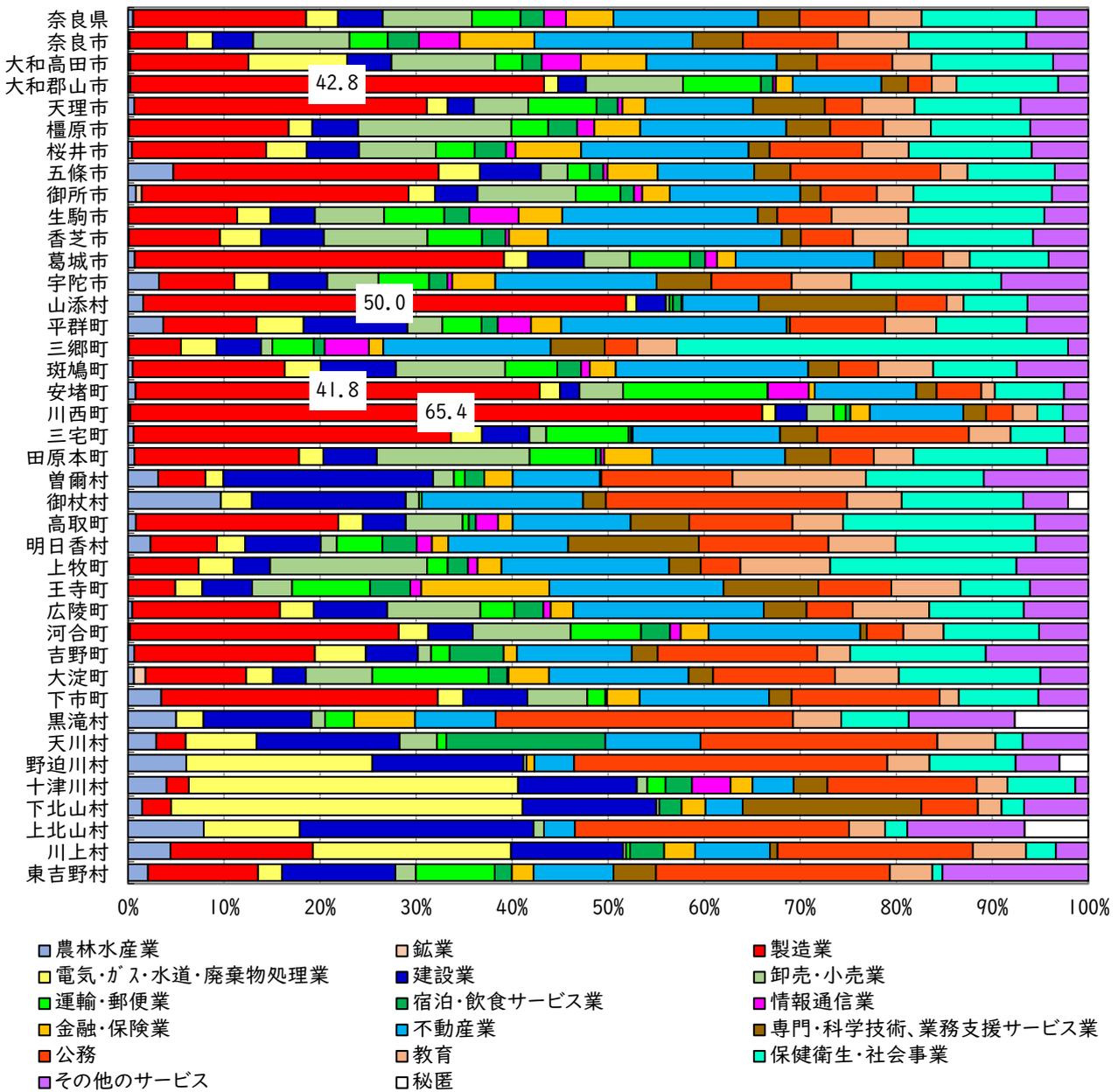
(単位:百万円、%)

	平成30年度	令和元年度	成長率	県内シェア
田原本町	94,200	96,390	2.3	2.5
曽爾村	4,678	5,343	14.2	0.1
御杖村	3,553	3,406	▲ 4.1	0.1
高取町	18,516	18,499	▲ 0.1	0.5
明日香村	13,188	13,878	5.2	0.4
上牧町	44,259	44,579	0.7	1.1
王寺町	65,682	65,825	0.2	1.7
広陵町	65,946	67,066	1.7	1.7
河合町	42,518	44,328	4.3	1.1
吉野町	20,782	20,602	▲ 0.9	0.5
大淀町	43,521	43,231	▲ 0.7	1.1
下市町	13,345	12,630	▲ 5.4	0.3
黒滝村	2,003	1,868	▲ 6.7	0.0
天川村	4,307	4,322	0.3	0.1
野迫川村	2,561	2,449	▲ 4.4	0.1
十津川村	16,436	15,704	▲ 4.5	0.4
下北山村	5,701	6,364	11.6	0.2
上北山村	2,515	2,871	14.2	0.1
川上村	5,368	4,939	▲ 8.0	0.1
東吉野村	5,322	5,070	▲ 4.7	0.1

### 3. 市町村内総生産の経済活動別構成比

- 経済活動別で製造業の構成比が一番高い市町村は、15市町村で、川西町(65.4%)、山添村(50.0%)、大和郡山市(42.8%)、安堵町(41.8%)などとなっている。
- 公務の比率が高い市町村は、黒滝村(30.8%)をはじめ吉野郡の町村に多い。

図 11 市町村内総生産の経済活動別構成比（令和元年度）



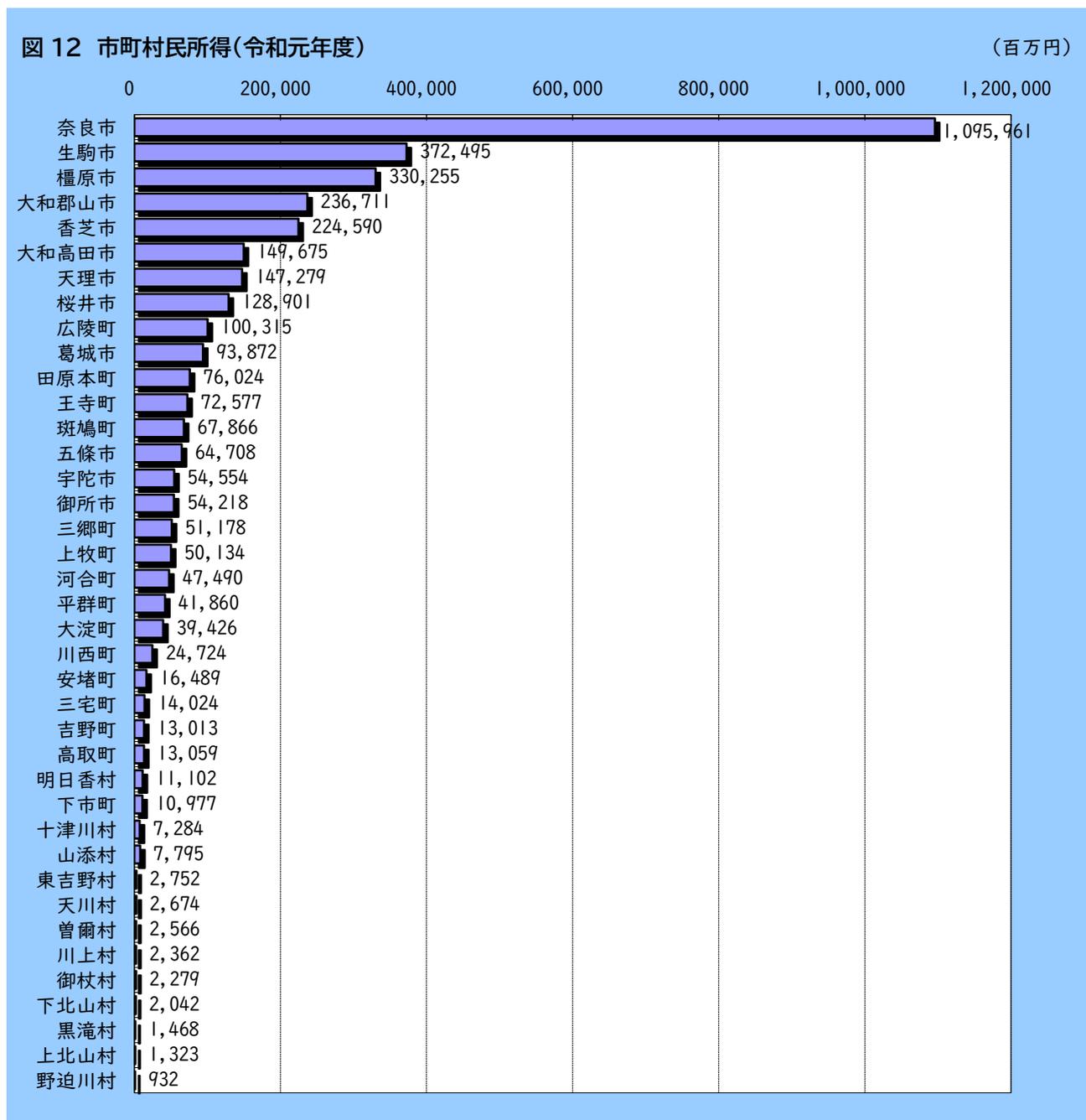
※ 輸入品にかかる税・関税等を加算する前の構成比で比較

※ 御杖村、黒滝村、野迫川村及び上北山村は製造業及び宿泊・飲食サービス業が秘匿となっている

## 2 市町村民所得(名目)

### 1. 市町村ごとの市町村民所得(総額)

○ 奈良市が1兆960億円で最も高く、次いで生駒市3,725億円、橿原市3,303億円と続く。



## 2. 市町村ごとの1人当たり市町村民所得

※1人当たり市町村民所得＝

雇用者所得+財産所得+企業所得(企業の利潤等)の合計  
を市町村人口で除したものであり、給料等の水準を表すもの  
ではありません。

- 奈良県の1人当たり県民所得を上回るのは、生駒市(318万4千円)、上北山村(310万1千円)、奈良市(309万2千円)等、9市町村。
- 大阪府等への通勤者が多く、大阪府等から雇用者報酬を得ている市町村が、県水準を上回る傾向にある。

図 13 1人当たり市町村民所得(令和元年度)

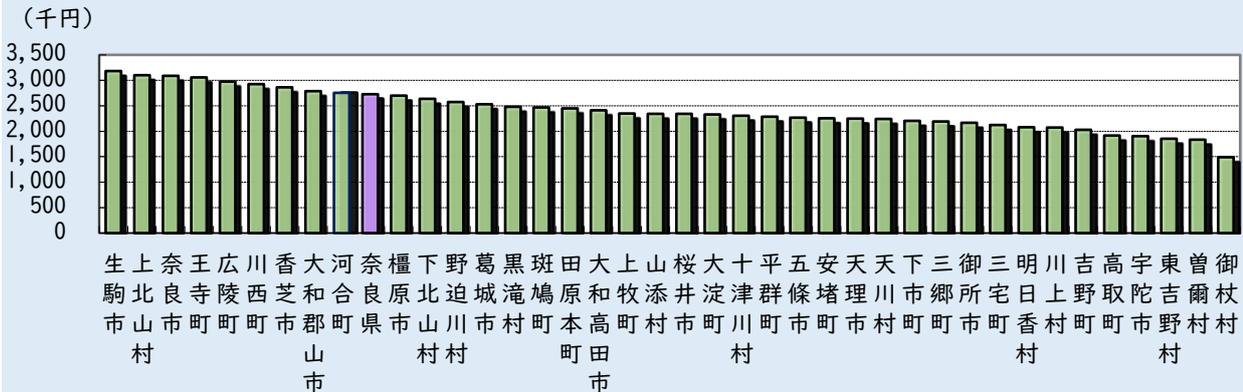


表 6 市町村ごとの1人当たり市町村民所得(令和元年度)

(単位:千円、%)

	平成30年度	令和元年度	増減率	水準
奈良県	2,753	2,728	▲ 0.9	100.0
奈良市	3,130	3,092	▲ 1.2	113.3
大和高田市	2,439	2,414	▲ 1.0	88.5
大和郡山市	2,834	2,787	▲ 1.7	102.2
天理市	2,268	2,249	▲ 0.8	82.4
橿原市	2,743	2,703	▲ 1.5	99.1
桜井市	2,339	2,340	0.0	85.8
五條市	2,339	2,266	▲ 3.1	83.1
御所市	2,167	2,169	0.1	79.5
生駒市	3,252	3,184	▲ 2.1	116.7
香芝市	2,843	2,864	0.7	105.0
葛城市	2,420	2,533	4.7	92.9
宇陀市	1,945	1,907	▲ 2.0	69.9
山添村	2,204	2,343	6.3	85.9
平群町	2,316	2,289	▲ 1.2	83.9
三郷町	2,207	2,192	▲ 0.7	80.4
斑鳩町	2,485	2,471	▲ 0.6	90.6
安堵町	2,196	2,254	2.6	82.6
川西町	2,881	2,925	1.5	107.2
三宅町	2,144	2,121	▲ 1.1	77.7

(単位:千円、%)

	平成30年度	令和元年度	増減率	水準
田原本町	2,506	2,447	▲ 2.4	89.7
曾爾村	1,777	1,836	3.3	67.3
御杖村	1,451	1,489	2.6	54.6
高取町	1,991	1,916	▲ 3.8	70.2
明日香村	2,133	2,082	▲ 2.4	76.3
上牧町	2,409	2,349	▲ 2.5	86.1
王寺町	3,108	3,056	▲ 1.7	112.0
広陵町	3,007	2,979	▲ 0.9	109.2
河合町	2,642	2,755	4.3	101.0
吉野町	2,118	2,027	▲ 4.3	74.3
大淀町	2,308	2,331	1.0	85.4
下市町	2,212	2,208	▲ 0.2	80.9
黒滝村	2,327	2,481	6.6	90.9
天川村	2,166	2,244	3.6	82.3
野迫川村	2,473	2,578	4.2	94.5
十津川村	2,453	2,306	▲ 6.0	84.5
下北山村	2,818	2,635	▲ 6.5	96.6
上北山村	3,067	3,101	1.1	113.7
川上村	2,219	2,075	▲ 6.5	76.1
東吉野村	1,745	1,851	6.1	67.9